

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S ' 1 7

平成29年12月6日 発行  
発行元: 塾熟出版(事務局)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

第10号



## Mission3

第12回

11月15日

『調査設計』

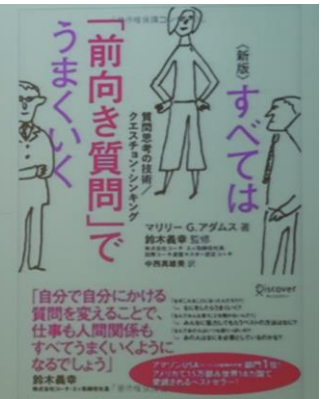
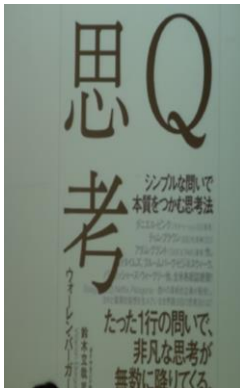
受講生 20名

今回の講座はワークショップ中心になりました。

### ワーク1

事前に皆さんから提出していただいた「問い」の採集シートを見て、どの問いが面白いと思ったかをグループで話し合いました。

【伊藤さんから】



伊藤さんからは、上記4冊の本をご紹介いただきました。「問い」とは何か。思わず知りたくなる、好奇心をかきたてられるようなものであるとのことでした。好奇心=悪であり、秩序を破壊するものであると考えられていた時代が長かったのですが、現代では社会が問いを抑制していく環境が作られているようです。その一例として、子どもたちが学校などで正しい答えをすると褒められるけれども、良い問いをしたことで褒められることはないということがあります。

私たちは、物事に疑問を持たずに受け入れることで心理的な負担を減らすため、問いをたてなくなったということもあるのかもしれませんが。

### ワーク2

皆さんに部下がいます。彼(彼女)は何度教えても同じミスをしてお客様に怒られます。注意しても「すみません」ばかりです。そんな部下に対して、皆さんの頭の中にはどんな問いが浮かぶでしょうか。

「？」の形で問いを考えましょう。

「問い」には2つの型があります。

- 1、Positive Question → 学習者の問い
- 2、Negative Question → 批判者の問い

**Positive Question**  
学習者の問い

**Negative Question**  
批判者の問い

問いをたてた時に、自分の問いはどちらの傾向にあるでしょうか？

行き詰った時には、問いを変えてみましょう。(Switching Question)

また、問い方も2つあります。

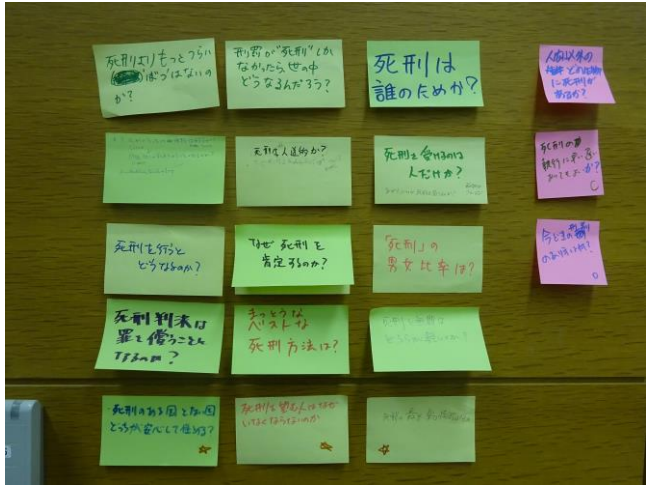
- 1、Open Question → Yes/No で答えられないもの
- 2、Close Question → Yes/No で答えられるもの

「なぜ?」「もし~だったら?」「どうすれば?」  
といったタイプの「オープン・クエスチョン」は、  
「はい/いいえ」で答えられるような、あるいは単  
なる事実を確認する「クローズド・クエスチョン」  
よりも創造的な思考を促す傾向がある。

ワーク 3

テーマは「死刑」。出来るだけ「問い」を出して、オープンクローズ化してください。その中から上位3つを決めてください。ルールは、思いついた全ての問いを書き出すこと、討論したり問いに答えようとしたりしないこと、ひたすら多くの問いをひねりだすこと…です。

↓各グループから出された上位3つの「問い」



### 成果発表会までのスケジュール

- 11/15 チーム作り・テーマ決定  
テーマについて様々な問いを作る・3つ問いを決める。
- 12/6 問いの問いなおし・問いの決定  
問いについて調べる
- 1/10 中間報告  
プレゼン準備
- 1/24 プレゼン  
振り返り
- 2/17 合同発表会



大人塾 3 コースとの合同成果発表会まで、残すところ3回となりました。  
発表会に向けたチーム分け、そして今後のスケジュールについて最後の確認をしました。

次回は来年1月10日(水)午後7時から  
場所はあんさんぶる荻窪4階、第2教室  
となります。(地図は別紙配布します)